

学校法人 KTC 学園 屋久島おおぞら高等学校 学校評価

教育目標

- ・センバス教育を通じ、スクーリングの中で、直観力と共感力を磨き、養うプログラムを実施する。

※センバスとは、ラテン語の SENSUS（感覚）VIVUS（生活）からとった造語で「生きる実感」を意味する

重点目標

- ・安全に留意し、生命を大切に感じられる環境をつくる
- ・関わる全ての生徒が成長実感を得られるよう、創意工夫し続ける
- ・ホリスティック、グローバルな視点から「つながる、つなげる」を体現する

分野領域

	目標	方策	自己点検評価	評価
学務部	業務の質・量を追求し向上を目指す	各担当者への研修を踏まえ、幅広く業務遂行ができるよう学務部全体の向上を目指す	前年度に比べ質の向上を図ることができた。担当業務のレベルは上がったが、幅広い業務ができるようにまではなっていない。次年度の課題としてとりこんでいく	B
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・センバス教育をカリキュラムに落とし込み、プログラムをデザインする。 ・観点評価を意識した課題の作成を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・直観力、共感力の定義を確立し、指導計画に組み込む ・どこでもどこでも取り組むことができるような課題の作成 ・教科を横断的に学ぶことができるカリキュラムの検討 	<p>直観力、共感力の具体を指導計画に反映できていない。</p> <p>SDGs を共通テーマにし、観点評価を意識した課題を作成することができた。</p> <p>従来に比べより深い学びが可能となるような課題を作成することができた。</p>	B

進路指導部	自身の将来について、主体的に考え、選択することが出来る能力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながり」をキーワードに思考、対話を大切にした教育活動の充実を目指す ・進路に向けた情報発信の内容・手段の充実を目指す 	<p>オンラインでのビデオ会議ツール等を利用した情報発信を行うことができた。</p> <p>また内容になりたい大人を思考することを大切に了一貫した指導ができた。</p>	B
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・自己指導能力の開発 ・「安心安全」の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 ・規範意識に基づいた行動様式の獲得 ・生徒と教員の関係構築 ・いじめ、自死防止への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴を基調とした態度は実践できており、生徒と教員の関係構築はできていた。 ・一部規範の徹底までつなげることができなかった。継続的な声掛けや関わりは今後必要であると認識する。 	B
保健部	保健管理と衛生管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・養護体制が機能できるように周知、環境づくりを行う ・感染症対策の徹底 	<p>養護体制の確立</p> <p>対応策のアップデートや備品設置をすすめることができた。</p>	B
学寮部	安全な生活の確保	施設管理および危機管理について研修し、実際に役立てる	避難訓練を2回、問題行動研修を2回実施した。実際に問題行動が起きた際に、初動に課題がみられた。研修経験を活かすという点では、引き続き取り組む必要がある。	B
事務部	業務、必要書類の見える化とデータ化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・業務一覧やマニュアルの作成、定期メンテナンスをする ・業務の流れ、手順を明確にする 	業務内容の洗い出しを行い、内容ごとにフォルダを作成し、共有を図ることが出来たが、データ化の完了までには至らなかった。	B